

殿山第二小だより

令和 4 年 1 2 月 1 3 日 第 2 6 号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

「もしも」の時に備えて

その4

2 学期もあと 10 日あまりとなりました。12 月初旬に実施しました個人懇談会には、お忙しい中、ご来校いただきましてありがとうございます。コロナ禍の中、保護者の皆様と担任がお会いして、お話をさせていただく機会も少なくなっ

ていますので、個人懇談会を実施させていただく意義があったと考えております。お伺いしたこと等、今後に生かしながら、子どもたちの学校生活が心身ともに充実したものになるよう、努めてまいりたいと思います。

さて、今回のテーマ「もしもの時に備えて その4」では、毎日のようにニュースとなっている、SNS・ネット社会に起こる危うさを考えてみたいと思います。

学校でも、一人一台のタブレットを活用し、調べ学習や復習・予習、宿題、プレゼンテーション等、必要に応じて活用をしています。また、各ご家庭でも、子どもたちによっては、自身のスマホを持って、ラインやゲーム等、機器を通しての人間関係づくりを行っているようです。

知らず知らずのうちに、依存型に陥り、心身に悪影響を及ぼしたり犯罪に巻き込まれてしまうということも考えておかなければならないと思います。「もしも」「もしかしたら」という危機意識や「自分は大丈夫」という安易な自信は、肝に銘じて自制しなければならぬことと思います。

以前に行われた「情報リテラシー教育講演会」でのお話をお伝えしたいと思います。

講演の中で、幾度となく講師の先生から発せられた言葉に『我慢する経験を持ちましょう！』『我慢する経験をさせましょう！』という呼びかけがありました。大人も子どもも、自分自身の問題として、考えていかなければならないと思います。今後ぜひ保護者の皆様と一緒に、子どもたちの心身の健やかな成長を見守っていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

スマホやネットの良いところ

- * 知らなかったことをたくさん調べることができる。
- * 自分の考えや作品を世界中に発信できる。
- * 遠くにいる人ともすぐに簡単に情報交換できる。

スマホやネットで気を付けなければならないこと

- * 画面を見ているのは、自分の友だちだけではありません。世界中の知らない人たちも見るすることができます。
- * 一度のせたり、送った情報はどんどんコピーされ、完全に消すことはできません。また、悪用される場合もあります。
- * 誰からの情報かわからず、のせられている情報が本当ではない・正しくない情報である可能性もあります。

科学進歩が著しい現在ですが、「便利な物」をどう扱うか？の判断は「人」がしなければなりません。扱った後の「結果」については、おのずと個人の「責任」が問われます。また、文字となった“ことば”や表現した“写真・動画”は、発信する人、受け取る人のその時々感情のあり様で“意味合い”は変わってきます。「まさか、こんなことになるなんて！」と後悔しても、『後悔先に立たず』ととりかえしがつかない結果になってしまうこともあります。

便利な物を“自分自身のために”“家族のために”“人のために”正しく扱える人でありたいと思います。まず、出来ることは、人の顔を見ながら、自分の“ことば”で思いを伝え合う人間関係づくりを大事にしていくことではないでしょうか。